

平成 24 年度

事業報告書

特別養護老人ホーム 千早赤阪春の家
千早赤阪春の家 ショートステイ
千早赤阪春の家 デイサービスセンター
千早赤阪春の家 ヘルパーステーション
千早赤阪春の家 ケアプランセンター

社会福祉法人 一梅会

平成 24 年度事業報告書

特別養護老人ホーム 千早赤阪春の家

千早赤阪春の家 ショートステイ

平成 24 年度は介護保険制度の改正があり、介護報酬の見直しにより単価が引き下げられたり、介護職員処遇改善交付金が介護職員処遇改善加算として、介護報酬の中に組み込まれたり、利用者の負担は増えるが、介護報酬全体は減少した。稼働率を個々に見ると、昨年度と比べ特養が約 2% の増加、ショートステイが約 4% 減少となるが、特養とショートステイを合わせてみると、昨年度と殆ど変わっていない状況である。しかし、1 件あたりの介護報酬の減少から施設の収入は減収となった。

感染症対策について、インフルエンザは入所者の予防接種の奨励に加え、職員には普段の感染予防対策である手洗い、ウガイ、マスクの着用が徹底されたこと、また隔離、消毒等、発生時の対応が素早く適切であったことにより、入所者 1 名の発症に抑えることができた。ノロウイルスは今季、平成 18 年に次ぎ大流行したが、流行期の前に職員に対し感染症の知識に加え実際に嘔吐や下痢をした時の対応方法をシュミレーションする等、繰り返し内部研修を重ねたことにより、発症を完全に抑え込むことができた。

また、近年特養において高齢化や重度化に伴い、医療的ケアを必要とする入所者が増加している一方で、特養は医療提供を主目的とした施設ではない為、看護職員の配置が十分ではなく痰吸引や、経管栄養（胃ろう）が必要な要介護者の入所が難しいといった現状にある。そこで当施設では、このような現状に対応するため、厚生労働省のガイドラインに従って、フルタイムの介護職員全員に対して、14 時間の内部研修を行い介護職員も一定の条件下で痰吸引や経管栄養を行えるように体制を整えた。

付表

表 1 特養入所者の入退所状況 (平成 24 年度)

(単位：人)

	入所者数	退所者数	退所理由	月末在籍数	男性	女性
4月	1	1	死去	57	11	46
5月	1	1	在宅	57	11	46
6月	1	1	長期入院	57	11	46
7月	2	1	長期入院	58	11	47
8月	0	0		58	11	47
9月	0	0		58	11	47
10月	2	0		60	11	49
11月	0	0		60	11	49
12月	0	2	長期入院 2名	58	11	47
1月	0	1	死去	57	11	46
2月	2	2	死去、入院先で死去	57	10	47
3月	2	1	死去	58	11	47

表 2 特養入所者の要介護度 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	5	5	1	11
女性	0	6	9	20	12	47
合計	0	6	14	25	13	58
構成比 (%)	0	10.3	24.1	43.1	22.4	(平均要介護度) 3.8

表 3 特養入所者年齢構成 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

区分	性別	在籍者			備考
		男性	女性	計	
55～69 歳		1	0	1	最高年齢 男性 99 歳 女性 97 歳
70～74 歳		1	2	3	
75～79 歳		1	3	4	
80～84 歳		2	6	8	
85～89 歳		3	13	16	最低年齢 男性 64 歳 女性 71 歳
90～94 歳		0	16	16	
95～99 歳		3	7	10	
100 歳以上		0	0	0	平均年齢 87.6 歳
合計		11	47	58	

表 4 特養年間利用実績（平成 24 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	1656	1710	1694	1760	1754	1684	1654	1686	1781	1767	1484	1709
一日平均人数	55.2	55.2	56.5	56.8	56.6	56.1	53.4	56.2	57.5	57.0	53.0	55.1
H24年度稼働率 (%)	95.2	95.1	97.4	97.9	97.6	96.8	92.0	96.9	99.1	98.3	91.4	95.1

表 5 特養利用実績比較

	延べ人数合計	1日平均人数合計	月間稼働率合計
H24年度	20,339人	55.1人	96.1%
H23年度	20,080人	54.7人	94.6%
H22年度	20,417人	55.9人	96.4%

図 1 特養稼働率比較グラフ

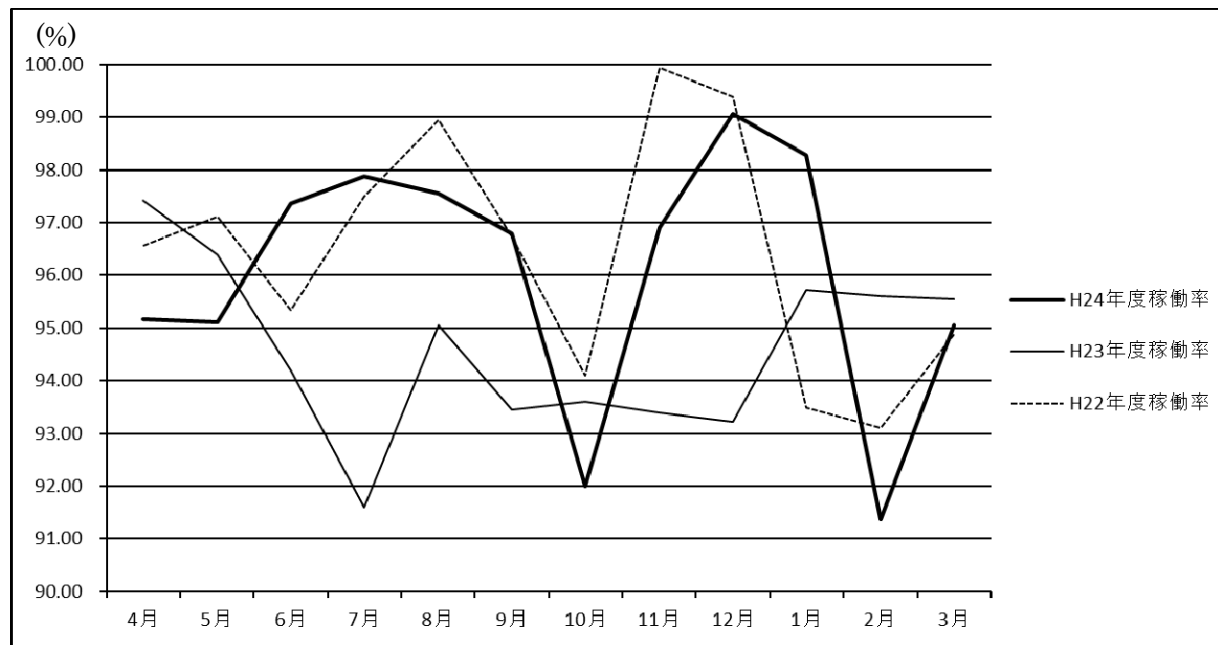


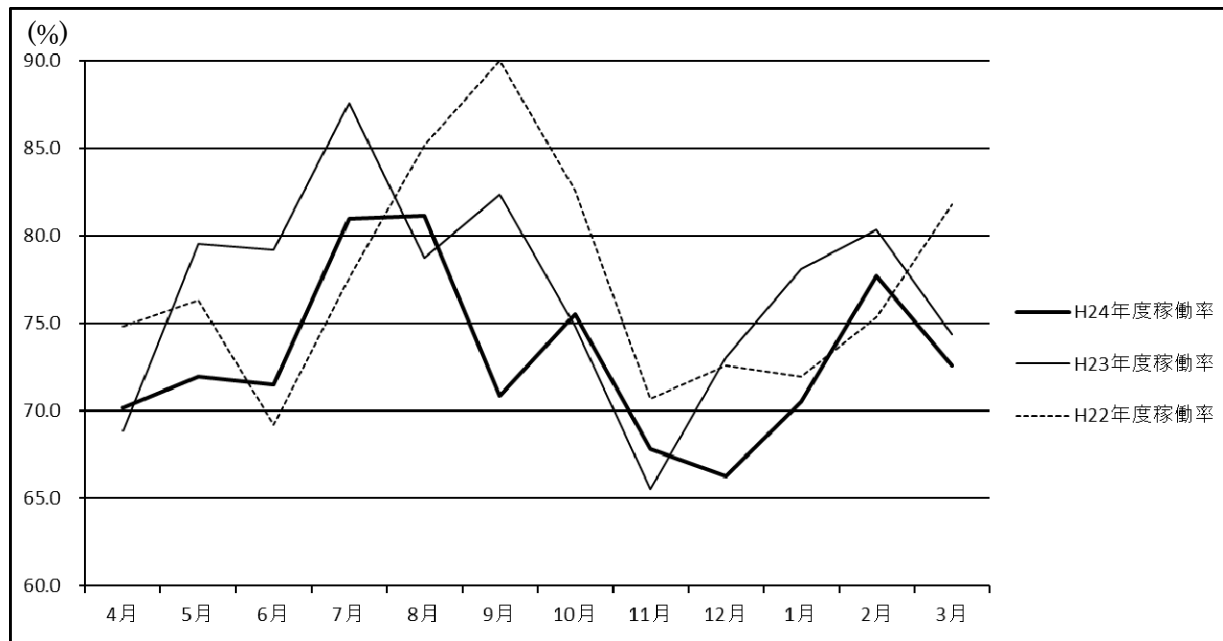
表 6 ショートステイ年間利用実績（平成 23 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	51	55	54	59	50	50	47	51	47	49	43	43
延べ人数	421	446	429	502	503	425	468	407	411	437	435	450
H22年度稼働率 (%)	70.2	71.9	71.5	81.0	81.1	70.8	75.5	67.8	66.3	70.5	77.7	72.6

表 5 ショートステイ利用実績比較

	延べ人数合計	1日平均人数合計	月間稼働率合計
H24年度	5,334 人	14.6 人	72.9 %
H23年度	5,627 人	15.4 人	76.9 %
H22年度	5,647 人	15.5 人	77.4 %

図 2 ショートステイ稼働率比較グラフ



綱領（基本方針）

我々 社会福祉法人一梅会春の家は、
高齢者と自発的に行動するために自活する

我々 社会福祉法人一梅会春の家は、
福祉サービスを必要とする者が、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、
地域において必要な福祉サービスを総合的に提供されるように援助する。

我々 社会福祉法人一梅会春の家は、
自彊の精神の下、夢多き老人と共に歩む
春の家より夢ある老人生活を創造、提案し、
老人の自活自発行動と共に歩む。

経営理念

- 一、 我々はお客様とその未来のために行動する。
- 一、 我々は社会と地域のその未来のために行動する。
- 一、 我々は社員と法人とその未来のために行動する。

毎日の基本行動

私たちは今日一日世界のために変わります。

私たちは今日一日五つの心で行動します。

1. おはようございますと言う明るい心
2. はいと言う素直な心
3. 私がしますと言う積極的な心
4. ありがとうございますと言う感謝の心
5. おかげさまでと言う謙虚な心

平成 24 年度 千早赤阪春の家 組織図

